

20161204「キリスト賛歌」

目標：クリスマスは、イエス様の信じられないほどのへりくだりによって実現したことを知る。

聖書箇所：ピリピ書2：1～11 時間：10分

暗誦聖句：「キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた」（ピリピ書2：6～7）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	先週からアドベントに入っています。アドベントは、クリスマスまで、イエス様をお迎えするための準備をする期間です。 お迎えする準備とは、救い主のイエス様が自分には必要なだと心から思いなおすことです。 本日の暗誦聖句をまず読みましょう。		アドベントの趣旨を説明し、
課題探究	6分	どういことを言っていますか。説明してみてください。 補)解らない言葉はありませんか。 このイエス様のなされたことは、あなただったらどうい風にするのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・イエス様が、私たちのところまで下ってきてくださった ・わからない ・むなしう ・しもべ ・僕がゴキブリになること ・カエルになること 	ピリピ2章6－7節を全員で読み、子供たちは、おそらく自分の生活しているこの世界よりも高い世界があることに気付いていないと思う。そういう世界があり、そこからイエスが下られたことは彼らには十分驚くべき内容である。 挙げられたものについてそれぞれ説明する。
まとめ	2分	イエス様すごいことするなあと思いますが、もし、ゴキブリで、そこから救うために誰かがわざわざ自分の生活を捨てて来てくれたとしたら、どう思いますか。 神の御子のイエス様が、神であることを捨ててまで、私たちのために、降りてきてくださったことを感謝して受け取りましょう。 一人でも多くの人に、この良き音連れを伝えていきましょう。 暗誦聖句	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしい 	色々挙げさせて良い。その中で一番現実の自分と差があるものを例として用いていく。 その際、生き物はみな平等という類を言う必要はない。子供たちはそこまで思い至らないと思われる。また、キリストのへりくだりをイメージさせやすくするため行うのであって、例えばゴキブリを嫌がる感情は素直なものと思う。 必要に応じて、人間観の、王様と平民といった対比を用いてもよい。 余計なイデオロギーを持ち出すことのないように気を付ける。 この感情こそ、アドベントに用意すべき心なので、子供たちが思い至らなければ、言葉を尽くして説明すること。
				187号のテーマからの反映。